

# 福まち通信

初雪は例年に比べ遅かったものの、一気に冬将軍が到来しました。

今年はインフルエンザの流行が早く、心配です。体調管理にはくれぐれもご注意ください。

毎月3日は「見守りの日」です。ひとり暮らしの方のサポートをいつも心掛けて行きましょう。

## 11月の行事

- 3日(日) 札幌市「見守りの日」
- 7日(木) 第2回安心安全研修会
- 11日(月) イオンの日
- 12日(火) 第7回代表推進員会議
- 19日(火) 西岡げんきランド
- 29日(金) 第7回役員会議

## 12月の行事予定

- 3日(火) 札幌市「見守りの日」
- 10日(火) 第8回代表推進員会議
- 11日(水) イオンの日
- 18日(水) 西岡げんきランド  
～クリスマス会～

## ☆第2回安心安全研修会の結果報告～参加者みんなで話し合いました～

11月7日(木)10時～11時40分 にしおか会館で西岡地区の推進員、豊平区役所ほか関係機関の方全部で47名の方が参加し開催されました。

今回の研修会は、高齢者(70歳以上のひとり暮らし)の見守り・サポート活動や茶話会の開催などをメインテーマに、推進員を中心にして、日頃の活動の中での課題や困ったこと、対応事例の紹介など、10～12名の4つのグループに分かれて情報交換、意見交換を行い、今後の福まち活動に役立てることを狙いとして話し合いを行いました。

各グループの進行役は事務局メンバーがそれぞれ担当しました。対応事例の紹介を含め内容の要点をまとめましたので、以下の通り、お知らせいたします。

### ◇見守り・サポート活動について

- ・見守りは毎月一定日に訪問し対応の地区と、ゴミ出し時や外出時などでの声掛けなどで、さりげなく見守りしている地区それぞれの事例が、参加者から報告、紹介があった。
- ・また、推進員のほか、隣近所がお互いに情報共有し、高齢者に対する気遣いを行っている事例の報告もあり、共感の声があった。
- ・高齢者との最初のアプローチは、簡単には行かない面もあり、無理せず、繰り返し接する中で、迎えてくれるようになり、福まちへの登録が実現するケースの話題も。

色々面倒なこともあるが、推進員を続けていて良かったとの体験事例も報告がされた。

- ・声掛けを続ける中で、少しずつ信頼関係ができる。時間がかかるが、ゆっくりと柔軟に対応することも大切との話も。

- ・高齢者と、どのように、どこまで接するかは、常に頭を悩ます問題。お茶を飲みながらゆっくりと話を聞くことも大切であり、ケースバイケースの対応がベストではないか。特に気懸りな方(認知症的な方)とは、慎重に複数で話を聞くとか、何度も同じ話しを聞く根気も必要との話題も。
- ・推進員を初めて担った方は、高齢者との接し方などに、より苦労されているようです。
- ・民生委員や区役所の保健師、包括など関係機関と連携して対応し、円滑にサービス利用や介護施設への転居が円滑に進んだケースなどの事例もいくつか報告、紹介された。
- ※関係機関のコメント：西岡地区は連携が非常に良いとのこと。

#### ◇茶話会活動について

- ・様々な内容の催しを企画、工夫し、茶話会が行われており、いくつかの事例が紹介された。
- 例：カーリソコ(カーリソグのような室内遊戯)、フェニスパーク(パークゴルフのクラブでフェニスボールを打つ室内遊戯)なども取り込み、参加者を集める工夫も行なわれている。
- ・福まちに登録の高齢者に限定せず、町内会全部に案内し、より多くの方が参加する中で、高齢者の方も喜んで交流できているとの報告もあった。
- ・福まちの助成を活用した茶話会のほかに、年間複数回の開催を行うケースも増えて来ており、町内会行事として、さらに一層充実できたらベター。
- ・気軽に集まれるように、地区内の会館で、食事は出さずに、お茶を持ち寄り、お茶やお茶菓子を用意するなど手軽なやり方の開催も報告、紹介された。
- ・会場の確保が大きな課題。会館がないところは、外部の会場探しで結構苦労している状況にある。
- ※なお、今年度の茶話会は、11月12日現在、西岡地区全体で27町内会が計画、昨年は年間で28町内会であったことから、今年度は、より一層、高齢者の交流が図られている状況にあります。

#### ◇その他の話題

- ・推進員の方の位置づけをきちんとやろうと、取り組んでいる町内会の事例も紹介された。
- ・町内会活動自体としては、若い人が関わって活動できる雰囲気をつくって行くことが大きな課題。

#### ◇まとめ

○毎年、2回目の研修会は、外部講師を招き、福まち活動ばかりでなく、幅広い話題で学習、研修してきましたが、今回は推進員同士でのグループの情報交換、意見交換をリーディングで行おうと企画しました。推進員の方が、地域の中で色々苦労し、ひたむきに対応されている様子が研修会を通して実感できました。

○西岡は、“ワンチームと一緒に”活動して行きましよう、最後に大友副センター長がまとめ、研修会は無事終了しました。

参加された推進員の方から、ほかの地区の方も、同じような悩みも感じながら活動を担っているのが判って良かった、参考になったとの声も、今月11月の代表推進員会議で報告がありました。

※なお、研修会の会場設営で、隣のグループの声が聞こえ過ぎ、話し合いに支障が生じた点について、事務局としてお詫びいたします。